

第6回 鵠川・沙流川外流域治水協議会 議事概要

日時：令和5年3月16日（木） 13：30～15：40

会場：門別総合市民センター福祉センター2階大集会室（WEB 併用）

委員：室蘭開発建設部長、室蘭地方気象台長、旭川地方気象台長、胆振東部森林管理署長、上川南部森林管理署長、日高北部森林管理署長、胆振総合振興局長、上川総合振興局長（代理）、日高振興局長、むかわ町長、厚真町長、占冠村長、日高町長、平取町長、森林整備センター北海道水源林整備事務所長（代理）

議事内容

- 1) 流域治水協議会の経過状況と今後の予定について
- 2) 規約の変更について
- 3) 鵠川水系・沙流川水系流域治水プロジェクトについて
- 4) 厚真川水系・入鹿別川水系流域治水プロジェクトについて
- 5) 二級水系流域治水協議会の設立について
- 6) 各関係機関からの情報提供について
- 7) 意見交換

主な意見等

- ・規約の変更について、案のとおり承認された。
- ・国営かんがい排水事業新鵠川地区における宮戸遊水地の目的は内水対策なのか外水対策なのか、狙いと効果について説明してほしい。
- ・宮戸遊水地の整備の目的は、下流の樋門から鵠川に排水できないことによる農地への湛水被害の軽減となっている。（室蘭開発建設部農業開発課）
- ・流域治水の視点では治山事業に関し、保水力や土砂移動を含めて総合的に対応する必要がある。農林水産省と国土交通省、北海道では建設部と水産林務部というように事業の捉え方が分かれているが、流域治水という視点で予算

確保について横断的にスクラムを組んで取り組み、事業も地域の方々に目に見える形で取り組んでほしい。

- ・流域治水協議会において関係機関の取組状況がフォローアップとして共有されることで、それぞれの機関の取組が見えるようになってきたことで、連携しやすくなると考えている。さらに連携できる体制を国・北海道・町村等と執っていききたいので、引き続きご支援・ご協力をお願いします。(事務局)
- ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による津波において市街地全域が浸水区域に指定されており、事前復興計画・立地適正化計画を・まちなか再生計画・津波避難対策緊急事業計画の策定に向け、行政だけでなく地域住民との合意形成が重要と考えている。
- ・それぞれの計画に対して国の防災対策や関係機関の取組をどう位置づけてるのか一緒に考えていきたい。立地適正化計画には取組状況や話題提供にあった水害リスクマップを活用してほしい。(事務局)
- ・マイタイムラインの作成にあたっては、個人個人のタイムラインであることから、住んでいる場所によって環境が異なることや、個人がどう気象情報等を判断するのか、どのようなレベルで作成するのか、どのように作成を誘導していくのが課題である。
- ・マイタイムラインの作成支援にあたっては、国土交通省の「逃げキッド」というツールがあり、民間機関によるデジタルマイタイムラインのツールも作成されている。防災訓練や防災教育の場での紹介や取組も可能なので相談してほしい。(事務局)